

恒富地区まちづくり懇談会（概要）

日 時	平成22年7月27日（火）19時00分～20時30分
会 場	清掃工場大会議室
参 加 者	79人
内 容	<p><u>1. 恒富地区区長会長からの地区の課題等についての提言</u></p> <p>【山口会長】</p> <p>① 延岡の西環状線を形成する愛宕通線と国道10号の連結による調査の経過と今後の見通し</p> <p>② 鷺島橋の自転車歩行者の安全確保のための橋りょう整備</p> <p>③ 西環状線に対する東環状線の具体化を検討</p> <p>《市長》</p> <p>① 西環状線から国道10号を結ぶ別府工区は平成21年度に2カ所の地質調査と交通量調査を行った。財政上の問題もあるため、大門工区との同時進行は難しい。現在は、大門工区を進めており、24～25年度に完成するのではないかと思う。別府工区は、JR九州や旭化成などと協議をする必要があるため、完成年度はお答えできないが、協議を進めながら検討していく。</p> <p>② 河川の改修工事が終了し、大型トラックの通行量が減少しているが、危険性は少なからずあるので何とかしないといけないと思う。</p> <p>しかし、延岡には700ぐらいの橋があり、老朽化している橋が多い。全国的にも橋は老朽化している傾向。延岡市では、橋りょうの長寿命化修繕計画を進めている。どう対応するかは同計画の中で決めていく。しかし、時間もかかるため、当面は、現在60cmの歩道を1mに広げ、歩道区分線を引きなすとともに、カラーリングを行うなど通行しやすくするための整備を今年度中に行う。</p> <p>③ 西環状線の全ぼうも見えていないため、まずは西環状線をしっかりしていく。東環状線の構想が出たころは、延岡道路ができることは想定されていなかった。現在は延岡道路もできている。今後の西環状線の通行量など状況を見ながら次の段階を模索していきたい。</p> <p><u>2. 意見交換</u></p> <p>【意見】決まりに従い浄化槽（下水道のつなぎ込み）を設置したが、まだ設置していない人がいる。市の条例の効能（権限）はどれぐらいあるか。</p> <p>《市長》国の法律などと比べると罰則規定は盛り込み難い。市が作る条例には限界があると感じている。</p> <p>【意見】健康づくりを行うためのスポーツ施設がない。市民が気軽に無料でできる総合スポーツ施設を作ってもらいたい。</p>

《市長》財政上の制約がある。数十億円かかるものは市独自の財源では難しい。大きな施設は県が県内に施設を分散しているのが通常だが、宮崎県は宮崎市にしかない。歴史的な経緯もあり特殊性もある。

市としては、県にも要望をしている。数十億規模になると補助を受けられなくなるため、市単独で整備することは難しい。

【意見】市の中心部の休日の駐車場を開放してはどうか。開放基準などの根拠はどうなっているのか。

《市長》市民の関心の高い事項であると思う。休日にも問題もあるが夜間の問題もある。代行運転業者のアイドリングなど騒音のクレームもある。また、会社の通勤などで駐車場を使用されると、市役所や城山公園利用者など本来の用途のために来られた方が使えなくなり、本末転倒である。ある程度制限をしていくことが本来の用途に使ってもらえることにつながるのではないかと思う。

【意見】緑ヶ丘地区に公民館が1つあるが利用しづらい。ウルストラ短大跡地利用だが、コミュニティセンターとして活用できないか。

《市長》それぞれの地区の地域活動が盛んになっており、コミュニティセンターが求められている。延岡市は最終的には21カ所の整備を予定している。

短大跡地については、今のところコミュニティセンター整備と絡めて検討はしていない。コミュニティセンター全体の配置計画の問題もあるため調査・研究していきたい。

【意見】方財町に4万5,000㎡の海浜公園がある。現在は目を覆うような環境。市はパトロールや草刈りなどを定期的に行わないのか。

《市長》公園の最近の状況はわからないが、市が行う草刈などは資材の問題や限られた人員と予算であるため実情を把握したい。

【意見】①医師会病院の位置づけが住民に徹底されていないと思う。周知してもらいたい。

②下水道条例など強制力はないかもしれないが、つなぐよう促すようにしないと効果がないのでは。

《市長》①他の病院と並列ではない。バックアップの受け皿として医師会病院があると考えてもらえるとよい。紹介を受けてから行く病院である。

②一定期間ごとに周知していくことは意識付けでも大事である。周知させていく必要がある。

【意見】第5次長期総合計画の最終年の人口規模はどのくらいを想定して

いるか。財政は人口に比例するのでどのように考えているのか。
《市長》第5次長期総合計画では、平成27年度で13万人台を維持と記載。現在と同じぐらいである。

考え方の背景としては、現実味のある数字、頑張れば何とかかなりそうな数字を記載している。人口は推計ができる。人口推計だと27年度は12万4,000人ぐらいになる見込み。

6,000人の差は、雇用の場の確保や人口増につながる施策を展開していくことで埋め合わせていく考え方である。

【意見】①高速道路開通後のストロー現象を懸念している。開通後の対応は。

②行革は攻めるべきものである。削減した額は新しいまちづくりに費やしてもらいたい。攻めの行革をお願いしたい。

《市長》①高速道路空白時代と開通時代を対比させ開通後はどうなっていくのかイメージしながらまちづくりをする必要がある。

分野ごとに対比すると、マイナス面として、商業面では、より大きな商業集積地域に流れて行くことは止めようがないため、負けない個性のある店を作ってもらいたい。同じものでは負けてしまう。市内や県北地域にも独自性のある店はお客さんが来ている。そういった店を増やしていく必要がある。

プラス面では、高速道路の開通により新しい事業所など企業誘致をできる可能性が高まる。SBSビルがよい例である。高速道路ができていないと誘致できていない。また、合併した総合力を発揮できるのは、観光面であり、高速道路を活用した観光振興を行って行く。

②削減するだけでは意味がない。人もお金もそうである。

市の職員を削るだけは、延岡市内の雇用が減るだけで終わる。削るのであればそれ以上の雇用を民間の中で生み出さないといけない。削減した以上の額も民間で流通するようにしないと意味がない。

国や県は公共事業を減らしているが、延岡市は公共事業を増やしている。コスト削減した分を役に立つところに投入するなど生かしたお金の使い方をしている。

【意見】消防団員や地域づくりなどに携わっている若者が減っている。公共の担い手としての若者育成についてどう考えているか。

《市長》確かに地域の結束力が弱くなっている。市が一番大事にしているのは、言葉で表すと「市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」である。地域力を高めていかないと、幸せに生きて行くことができない地域となる。

人と人とのきずなが弱くなっている。きずなをつなぎとめる礎となるの

	<p>が消防団や地域の活動である。これを再生していくことが市民力・地域力を高めていくと思う。</p>
--	--

	<p>なかなか一朝一夕ではいかないが、働きかけをしていかないと前に進まないなので一生懸命働きかけをしていきたい。</p>
--	--